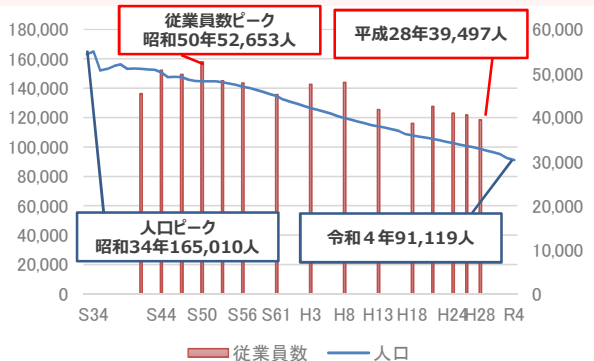


門司区を取り巻く課題

門司区の課題

人口減少、少子・高齢化、人流の減少
商店街の空店舗、老朽空き家の増加
土砂災害警戒区域の多さ

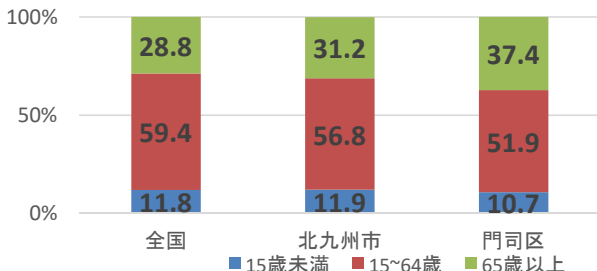
◆人口減少



人口：国勢調査・推計人口の各年10月1日現在
従業員数：総務省統計局事業所・企業統計調査（昭和41年～平成18年）、
経済センサス基礎調査（平成21年、平成24年）、経済センサス活動調査（平成26年、平成28年）

◆少子・高齢化

年齢三区分比（全国・北九州市・門司区）



全国：総務省統計局人口推計（R4.10.01）、北九州市及び門司区：北九州市の統計（R4.9.30）

◆土砂災害警戒区域箇所数（0内は土砂災害特別警戒区域箇所数）

| 区域 | 急傾斜地 | 土石流 | 地すべり | 小計 |
|-------|-----------|-----------|--------|---------------|
| 北九州市 | 852 (806) | 450 (427) | 39 (0) | 1,341 (1,233) |
| うち門司区 | 206 (200) | 148 (140) | 5 (0) | 359 (340) |

北九州市地域防災計画 付属資料編 R4.5 現在

中長期的なまちづくり

- ① 関門の魅力的景観、歴史的資源を生かしたにぎわいづくりの推進
関門海峡、門司港レトロ地区、門司赤煉瓦ブレイスなどを活用したにぎわいづくりの推進 ※はいずれも国指定重要文化財



- ② 区民との協働活動の推進
門司区内で活動する市民や団体とともに清掃活動や交通安全運動など、様々な協働活動を推進



- ③ 公共施設マネジメントの推進

- 1) 門司港地域複合公共施設整備事業
老朽化が進む区役所、市民会館、生涯学習センター、図書館などの施設を門司港駅付近に集約、複合施設として整備
- 2) モデルプロジェクト再配置計画（大里地域）
旧門司競輪場跡地を中心に、大里公園の拡張整備とスポーツ施設を集約、複合公共施設として整備するとともに、居住ゾーンは民間事業により魅力的な居住環境等を創出



複合公共施設棟外観(イメージ) 複合公共施設棟内観(市民ロビーイメージ)

- ④ 重層的支援体制整備事業への移行準備事業（モデル事業）
孤独・孤立の問題解消に資する人と人との「つながり」を実感できる社会環境づくりを目指し、当事者の複合的な課題を包括的に支える体制を構築する重層的支援体制整備事業の活用に向けた移行準備事業を実施

まちづくり3つの柱

自然や歴史を活かし、人とモノが交流するにぎわいのあるまち

- ・門司港レトロ事業（門司港レトロ・和布刈地区夜の賑わい創出事業、和布刈地区観光拠点化推進事業、門司港レトロ地区回遊性向上事業、和布刈リブランディング事業）
- ・各種イベント支援（門司海峡フェスタ、門司みなと祭、関門海峡花火大会、維新・海峡ウォーク、関門よさこい大会等）
- ・大里赤煉瓦タウン活性化事業（大里赤煉瓦食市）
- ・門司の魅力発見事業（地域探訪）
- ・門司区マスコットキャラクター（じーも）活用事業
- ・門司を美しくする会、海の玄関口グリーンアップ活動
- ・みなとの魅力再発見事業、クルーズ船誘致事業 等
- ・恒長朽網線道路整備事業
- ・公共施設マネジメント推進事業（門司港及び大里地域の複合公共施設整備）

芸術・文化あふれる魅力あるまち

- ・門司港アートの推進（門司港美術工芸研究所、松永文庫、クラフトデザインの振興）
- ・バナナの叩き売り関連事業
- ・まちづくりステップアップ事業
- ・「思ひ出ステーション門司」運営事業
- ・関門連携による国内外映画・テレビドラマ誘致・支援事業
- ・「関門海峡」日本遺産連携事業

健康で、安全・安心に暮らすことができるまち

- ・重層的支援体制整備事業への移行準備事業
- ・とびうめ@きたきゆうの推進
- ・防災対策、防災啓発
- ・イノシシ対策
- ・交通安全運動の推進
- ・いのちをつなぐネットワーク事業
- ・子育て支援
- ・各種行政相談
- ・災害に強くコンパクトなまちづくり推進事業
- ・空き家対策
- ・防犯、暴走対策
- ・校区まちづくり支援事業
- ・地域包括支援センターの運営
- ・地域でGO!GO!健康づくり
- ・道路、公園等整備

まちづくりの目標

訪れてみたい
門司に 住んでみたい
住み続けたい

にぎわいで
交流人口増



安全安心で
定住人口増

門司区マスコットキャラクター「じーも」